



# 友好の軌跡

東日本大震災から間もなく5年を迎えます。その被害に多くの人が悲しみを覚えました。同時に多くの人のつながりを成すこともできました。

震災をきっかけに、上尾市と福島県本宮市は、防災協定、友好都市協定を結び、親密な関係を築いてきました。

これからのさらなる親交と、発展に向けて、本宮市の高松市長と、今後の両市の将来像について語ります。

島村 しまむら 上尾市長

穰 みのる



高松 たかまつ 本宮市長

義行 ぎぎょう

## 【プロフィール】

昭和29(1954)年生まれ。旧本宮町出身。大正大学を卒業。平成7(1995)年に旧本宮町議選に初当選。連続5期務め、初代市議会議長も歴任。平成23年1月本宮市長に初当選。平成27(2015)年1月に2期目当選となる。趣味は落語鑑賞で座右の銘は「小欲知足」。



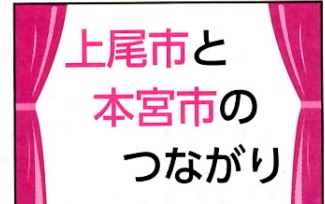
子どもたちの交流会を上尾丸山公園で開催(カレー作り)



平成25年7月に上尾市と本宮市で友好都市協定を締結



東日本大震災での本宮市被害状況(本宮第二中学校倒壊)





市長新春  
座談会

# 未来につながる

**島村市長** 明けましておめでとうございます。昨年は高松市長をはじめ、多くの本宮市の皆さんと交流をする機会があり、大変お世話になりました。今日は、本宮市と上尾市のこれまでの歩みと、これからの交流について、お話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひします。

**高松市長** 明けましておめでとうございます。こちらこそ、よろしくお願ひします。

## 復興支援から始まった両市の歩み

**島村** 本宮市とは、東日本大震災をきっかけに交流が始まり、友好都市協定を結ぶなど、継続的な交流が続いていますね。

**高松** 上尾市との出会いは、東日本大震災で救急隊を派遣いただいたことがきっかけとなりました。このご縁を結べたことに大変感謝しています。

上尾市の皆さんには、震災後の本宮市に多くの支援をいただき、本宮市民を代表して心からお礼を申し上げます。

**島村** 私が市の職員だった時に阪神淡路大震災が発生し、かつて交流のあった仲間が大きな被害を受けました。つらい経験でしたが、現地の皆さん

んと助け合い、皆で多くの試練を乗り越えました。東日本大震災が発生したとき、その経験をもとに福島県に少しでも協力したい、手助けしたいという強い思いが、本宮市とのご縁につながっています。

## これまでとこれから

**島村** 私も高松市長も現在2期目になりますが、市政のかじ取りをしていく中で、震災やそれに伴う課題などいろいろあるかと思ひます。これまでの任期の中で印象に残っていることや、今後の目標はあります。

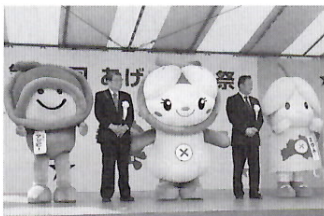
**高松** 就任からわずか一カ月で震災を経験し、これまでは復旧・復興に追われたのが実感です。今後は、震災前にも増して元気な本宮市を目指したいと考えています。

多くの自治体で人口減少が大きな問題となつていますが、たくさんの方に住んでみたい、住み続けたいと思われるまちなりにしていくことが、2期目の目標です。上尾市が歩んできた道には、本宮市の目標とするべきところが多々あります。そうした目標があることは、大変ありがたいことだと思ひています。これからの本宮市

は上尾市を目標に、活気あふれる元気なまちにしたいですね。

**島村** ありがとうございます。目標と言っていただけのこととはとてもうれしいですね。同時に私も気が引き締まる思いです。

私も市長に就任してからいろいろなことがありました。何かを成し遂げようとしたときに、市民の皆さんが理解を示し、協力してくださったことが何より大きかったと思ひます。やはり、市民の皆さんと行政が協力することが一番重要なのではないのでしょうか。私も、「笑顔きらめく、ほっとなまち あげお」を目指し、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、日々精進していくつもりです。



平成27年11月、友好の象徴としてアップー&まゆみちゃんに「あゆみ」(中)が誕生



毎年、子どもたちはサッカー・野球などを通してスポーツ交流



上尾市民俗芸能公演で本宮市の浮島神社太々神楽を披露



災害時の協力のため、毎年上尾市の防災訓練に本宮市が参加





競い合うのではなく、  
高め合う

**島村** 高松市長のお話にもありましたが、わが国では人口減少が大きな問題となつていきます。それについてどのようにお考えですか。

**高松** 今後、確実に起こる人口減少に対して何もしないでいるわけにはいきません。しかし、近隣自治体との人口の取り合いは望ましいものではなく、過度の競争は良い結果を生みません。われわれ行政としては、多くの皆さんに住んでみたいと思つてもらえるよう、市の特色をどう発信し、どう広めてい



本宮市長  
高松 義行

地域、ふるさとへの  
大きな想いが市の力に

くか、それが今後の行政に必要なことであり、市民の皆さんとその特色を魅力ある資源として育てていくことが重要だと考えます。

**島村** 私も他市町村との人口の取り合いではなく、互いに高め合いながら、満足して定住していただけるまちを創ることが必要だと思えます。災害に強いまち、子育てに優いまちとしての特徴を活かして、今後の上尾市を発展させていきたいと思えます。

先人の想いを大事に

**島村** 本宮市へお伺いするた

びに、市民の皆さんの温かい人柄を感じます。人もそうですが美しい自然や多くの企業が集まる立地条件など、さまざまな「顔」を持つ本宮市の今後の展望はありますか。

**高松** 先ほどの話に続きますが、住みたい、住んでもらいたいまちであるには、市の中に生活の機能が集約されていることが必要だと思えます。子育てや就職、高齢者が安心して過ごせる地域など、「勤住一体型」といべきか、一つの地域で生活が完結することが理想です。そのためには、地域の産業を固めつつ、新たな産業が入ってくる必要があります。その点では、本宮市は東北自動車道や磐越自動車道のジャンクションが近くにあり、昔から「陸の港」として発展してきた交通の地の利を活かせると思えます。

**本宮** は昔、宿場町として栄えていましたが、当時は人口1万5千人ほどでした。しかし、現在の半分の人口だから活気も半分だったかという、もちろんそうではありません。人の数の問題ではなく、一人一人のふるさとへの想いの強さが活気を生むのだと思えます。先を見ることももちろん大事ですが、先人の想いに立ち帰っ

てみることも、地方創生の大きなヒントになると考えています。

**島村** 上尾市も、その礎は宿場町として交通の要所であったことにあります。その基本姿勢は上尾市としても大事にすべきと考えています。人口だけに捉われず、住む人々の地域への愛着こそ、市の力となるのかもしれないですね。まさにわが意を得た思いです。

人と人とのつながり

**島村** 一昨年の「あげお産業祭」でアツピーとまゆみちゃん結婚し、昨年11月7日には同じ「あげお産業祭」で子ども「あゆみ」ちゃんがお披露目されました。まさに両市の友好が形を成したものだと思えます。上尾市では、皆さん大変喜んでくれています。本宮市ではいかがですか。

**高松** 上尾市と本宮市が家族のような付き合いをし、今後の協力と発展を誓い合った象徴が、「あゆみちゃん」の誕生として表現されたものだと考えています。本宮市にとっても、私にとっても大変うれしい話題でした。今後も、明るく親しい付き合いが出来ればと思います。





上尾市長  
島村 穰

**島村** 私も大変うれしく思っています。本宮市とは友好都市協定締結後、防災やスポーツなど多岐にわたる交流が続き、多くの子どもも参加してさらなる交流の輪が広がっています。

**高松** あゆみちゃんが新たな交流の架け橋となればうれしいですね。やはり、人と人とのつながりが一番大切です。

**島村** 私はこれからさらに地域を離れた交流も重要になると考えています。国内のみならず、オーストラリアのロッキンジャーバレー市や中国の杭州市とも友好都市協定を結んでいます。

## 未来を担う子どもたちへ 想いを託したバトンを

いますが、協定締結後の人と人とのつながりとその継続が大事になると思います。

**高松** 本宮市は、上尾市をはじめ全国8自治体と防災協定を結んでいます。一昨年に、上尾市を通じてロッキンジャーバレー市とつながりを持てました。また本宮市は独自にベラルーシ共和国とも国際交流をしています。

**島村** 子どもたちにとっても、国際的な関わりを持つことは、将来にとって貴重な財産となります。これからも大切にしていきたいですね。

### 手を取り合い、 夢をかたちに

**島村** 私は、子どもや市民の皆さんに夢をもってもらえる市政を理想としています。そして私の夢は、皆さんの「夢をかたちに」することです。高松市長はいかがですか。

**高松** 私も行政には夢が必要だと思えます。生きる上でも夢は大きな力になります。財政や復興など現実的にはいろいろな制約がありますが、どんな時でも夢に向かう姿勢が必要です。子どもからお年寄りまで明るくなれるまちを市民の皆さんと一緒に創り上げていくことが、本宮市と私の夢です。

**島村** まさにその通りですね。特に未来を担う子どもたちに住み続けたい、まちを良くしたいという思いが根付くよう、先人の想いを汲んで次世代にバトンを渡したいですね。

ことは申年です。私は年男ですが、年男には正月の祭りごとをつかさどる人の意味もあるそうです。私も市民の皆さんのために、さらに「政」を頑張っていかなければいけないと思います。また、これからの本宮市との交流の中で、他にも多くの自治体に加わ

り、いろいろな地域を巻き込みながら、それぞれが発展するようなまちづくりをしていきたいですね。

**高松** 島村市長には、上尾市の市民の皆さんのためにも頑張っていたいただきたいです。両市が発展していくよう、お互い頑張りましょう。本日はありがとうございました。

**島村** ありがとうございます。

### 本宮市の概要

平成19(2007)年1月1日、安達郡本宮町と白沢村が合併して誕生。福島県のほぼ中央部に位置し、市の中央部を阿武隈川が流れる。市街地が国道4号、県道355号の沿線に広がり、東北自動車道などの交通網も充実している。古くは会津街道、相馬街道、三春街道の交点でもあり、交通の中心地で、宿場町としても有名であった。本宮の名の由来は市内北部に存在する南達地方一帯の総鎮守、安達太良神社に由来する。